

てづく かみしほい 手作り紙芝居

にがつとうそう 「二月闘争」

どうにゆうぶ 導入部

こんげつ でんとう にがつとうそう について まな びます。師のわかきひのたたかひを学び深め、でしである私
たちひとりひとりが、けついもあらにしゅっぱつしていきたいとおもいます。

1枚目／こうふしにさんぜんとかがやぐきょうたつせい (8枚目の絵の裏に貼る)

1952 (しょうわ 27) 年の2月、とうじ 24さいだったわか いけだせんせい、かまたしぶのしぶかんじとして、201せたい
の弘教を達成しました。当時、もつとかつりよくあるしぶでもつきに100せたいというじだいにあつて、それまでの
げんかいをおおきくうちやぶったこのたたかひは、ぜんこくのどうしゆうきかくしんあたえはどうひろげました。これ
が広布史にさんぜんでんとうにがつとうそうです。

2枚目／だいにだいかいちやうとだせんせいせいがん (1枚目の絵の裏に貼る)

1951 (しょうわ 26) 年5月3日、第二代会長にしゅうにんとだせんせい、そのせきじやうまんせたいぐきょう
誓願をはつびやう発表しました。とうじかいいんにんこをこえるていどにすぎず、戸田先生のせいがんをきいたひとびと
にとって、75万というかずそうぞうはえんたいものにかんじられたのでした。

3枚目／かりがねこうしん (2枚目の絵の裏に貼る)

とだせんせいだいにだいかいちやうしゅうにん 9かげつ たつたしょうわ 27 年1月まつじてんでは、弘教のたたかひはおも
ったようにすすんでいませんでした。戸田先生は、こうしたじやうたいをうちやぶるため、「雁行進は、こんげつをも
って、いっさいうちきりとする!」とせんげんします。このころかくしぶのぐきょうじやうたい、よこいっせんなら
んですすむがんのむれにたとえて、「雁行進」と言われたのでした。

4枚目／蒲田支部幹事に任命 (3枚目の絵の裏に貼る)

「このままでは、とうてい、^{こうせん るふ}広宣流布はできない。本当の^{ほんとう}弟子はいないのか!」との^{とだせんせい おも}戸田先生の思いに^{こた}応えて立ち上がったのは若き日の^{いけだせんせい}池田先生でした。戸田先生は24歳の^{さい}池田青年を蒲田支部の支部幹事に任命します。それは、池田青年が常に^{つね}戸田先生の^{こころ}心に^{こた}応え、^{せんく}先駆の^{じっせん}実践をすることをよくご^{ぞん}存じだったからでした。

5枚目／明確な目標を掲げる (4枚目の絵の裏に貼る)

蒲田支部の支部幹事となった^{いけだせんせい}池田先生は、「この2月、^{がつ みごと}見事な^{しょうり}勝利の結果をもって、^{とだせんせい たんじょう}戸田先生の誕生の^{つき}月をお祝いしようではありませんか!」と、支部の^{みな}皆に^{うった}訴えました。誰よりも^{だれ}師を^し思い、^{おも}75万^{まん}世帯の^{ぐきょう}弘教という^{こうそう}戸田先生の^{かなら}構想を^{じつげん}必ず^{つよ}実現させてみせるという^{けつい}強い^ひ決意を^ひ秘めていた^{いけだせんせい}池田先生は、支部200世帯、^{くみ}組2世帯という^{くみ}明確な^{くみ}弘教の^{くみ}目標を掲げます。

当時^{とうじ}は、支部・^{ちく}地区・^{ほん}班・^{たいせい}組という^{せいび}体制が^{せいび}整備されたばかりでした。池田先生は、これまでになかった「^{たいせい}組」^{たいせい}単位での^{しやくぶくざだんかい}折伏座談会を^{おこな}行うなど、^{しょうにんずう}少人数の^{つど}集いを^{たいせつ}大切に^{さいぜんせん}し、^{しやうてん}最前線の「^{くみ}組」に^あ焦点を^あ当てたのでした。

6枚目／一人ひとりに光を当てる (5枚目の絵の裏に貼る)

^{いけだせんせい}池田先生は^{くみざだんかい}組座談会を^{てっぺい}徹底して^{まわ}回り^ぬ抜き、^{ひとり}一人ひとりを^{げきれい}激励して^{とく}いきました。特に^{にゅうかい}入会してまだ^ひ日の^{あさ}浅い^{たい}メンバーに^{あた}対しては、「^{あた}新しい^{ひと}人」だからこそ“^{ちから}新しい力”を^も持っている」と^{はげ}励まし、一人ひとりの^{こうふ}広布に^{たたか}戦う^{こころ}心を^あ燃え^あ上がらせて^あいったのです。このような^{いけだせんせい}池田先生の^{てっ}徹して「一人」を^{たいせつ}大切に^{はげ}した^{こうどう}励ましの^{しぶない}行動で^{くうき}支部内の^{いっぺん}空気は^{ぐきょう}一変し、^{かんき}弘教の^{ひろ}歡喜が^{ひろ}広がって^{ひろ}いきました。

7枚目／201世帯の弘教を達成 (6枚目の絵の裏に貼る)

こうして2月25日、^{かまたしぶ}蒲田支部はこれまでの^{ばい}弘教に^{おお}倍する^{かべ}201世帯を^{やぶ}達成し、^{おお}大きく^{かべ}壁を^{やぶ}破りました。それは、^し師を^{おも}思う^{いけだせんせい}池田先生の^{あつ}熱き^{こころ}心と、^{そっせんすいはん}率先垂範の^{こうどう}行動に、^{みな}皆が^{ふる}奮い^た立って^う打ち^た立てた“^{こうふ}広布の^{きんじとう}金字塔”でした。そして^{おお}多くの^{おお}支部が「^{つづ}蒲田に^{つづ}続け」と^{おお}奮い^{おお}立ち、^{いっきお}弘教の^ま勢いが^ま増して^まいったのです。

8枚目／^{みずか}自らが^{こうふ}広布の^{げんどうりよく}原動力に (7枚目の絵の裏に貼る)

「^{にがつとうそう}二月闘争」によって^{いきお}勢いを増した^{がっかい}学会は、この^{とし}年には^{まんせたい}2万世帯を^こ超え、^{ねんご}5年後の1957(昭和32)年12月、ついに^{とだせんせい}戸田先生の^{がんぎよう}願業である^{まんせたい}75万世帯の^{ぐきよう}弘教が^{たっせい}達成されたのです。^{でんとう}伝統の「二月闘争」を^{つらぬ}貫くもの、それは、“^{だん}断じて^し師の^{こうせん}広宣^{るふ}流布の^{がんぎよう}願業の^{とっぱこう}突破口を^{ひら}開く”という「^{していふに}師弟不二」の^{せいしん}精神です。この2月、^{わたし}私たちが^{わたくし}自らが^{こうふ}広布の^{げんどうりよく}原動力に^{けつい}との決意で、^{ししやう}師匠に^{こた}応えていく^{たたか}戦いを^{てんかい}展開していきましょ

う。

^{けつい}決意など